

さすな KOBÉ



第6号
TAKE FREE
March.2014

特集 1.17 から 3.11 へ 神戸から東日本へ 深まる絆 広がるボランティアの輪

美味しい!かわいい! 福祉のお店
ワークカフェ キュート/ピータンハウス

会いたかったYes!この人
山田烈子さん(山田朗読研究会主宰)

季節の人気メニュー
フレンチトースト 母ソース

催し・イベント情報
TOPICS 中村三郎新理事長が就任
読者アンケート&プレゼント VOICE



特集

1.17から3.11へ 神戸から東日本へ
深まる絆 広がるボランティアの輪

阪神・淡路大震災から来年で20年。東日本大震災からは、間もなく3年が経過しようとしています。大震災を経験した私たちは、復興には大変な時間がかかり、人と人とのつながりや息の長い支援がどんなに大切でありたいことをよく知っています。1.17から3.11へ。神戸から東日本に向けて、震災を風化させることなく、支援活動を続けているたくさんのグループの中からいくつかを紹介しましょう。



♥ 芸術の力で被災地を支援

*寄りそう心を「命の一本桜」に託して「アトリエ太陽の子」

阪神・淡路大震災で教え子を亡くす、という辛い経験をした画家の中嶋洋子さん（絵画教室「アトリエ太陽の子」主宰・代表）。以来、子どもたちに「命の大切さ」を伝え続けてきました。東日本大震災・発生の翌日から、子どもたちと描いたのが1000枚の桜の絵。『一日も早く春が来ますように』と願いながら、1か月後に宮城県と岩手県の小中

学校や避難所など計8か所に届け、喜ばれました。2年目からは、子どもの手形で描く縦3.2m、横8mの大作“命の一本桜”を製作し、入園式や入学式のお祝いに贈っています。

今年も4月に、1週間かけて東北各地を巡り“命の一本桜”を届ける予定。「震災を経験した私たちは、東北の方々の悲しみを理解できます。絵の力を信じて、子どもたちが心の底から笑顔になる日まで、復興するまで寄り添い、共に歩んで行きたいと思っています」。



今年の1月17日には東北から子どもたちが神戸を訪ね、共に絵を描きました



手形で制作する大作「命の一本桜」。被災地に届けます。

*神戸から東日本へ応援メッセージを「ヒトキズナ」(神戸芸術工科大学 かわい研究室)

「神戸ルミナリエ」や「阪神・淡路大震災1.17のつどい」の会場内のテントで、東北への応援メッセージを書いた、かわいい木製の人型を見かけた人も多いのでは。

これは「手をつなごう！東北」のシンボルキャラクター「トゥギャザーマン」。3月11日の福島県文化センターを皮切りに、石巻市や南三陸町に巡回展示され、神戸の人々の気持ちを被災された方々へ届けます。



東北の方々への想いを込めたトゥギャザーマン

このプロジェクトを企画したのは、「ヒトキズナ」。2008年に神戸芸術工科大学かわい研究室のゼミ生を中心に活動をスタートし、11年からは、東日本大震災の被災地に神戸から応援メッセージを届けるなどの心の支援を実施。13年からは、被災企業の復興商品企画やデザインの支援もおこなっています。



阪神・淡路大震災1.17のつどい会場で。神戸芸術工科大学のかわいひろゆき教授とゼミ生のみなさん

*震災の体験や教訓を朗読で伝える「震災を読みつなぐ会KOBÉ」

「震災を風化させないよう次世代に継承し、あの時助けてくださった方々への感謝の気持ちを伝えるため、心をこめて朗読をしています」と話すのは、震災を読みつなぐ会KOBÉ代表の下村美幸さん。



1月11日に開催した「朗読でつづる震災手記のつどい」

防災学習の一環として、市内の小中学校をはじめ、さまざま

な場所で出前朗読をし、“命の尊さ”“共に助け合うことの大切さ”“生きることの素晴らしさ”を伝えていきます。

今年1月11日には、こべっこホールで同会らが主催し「朗読でつづる震災手記のつどい2014」を開催。阪神・淡路大震災の体験記に加え、東日本大震災の被災者の作品7編を紹介。一日も早い復興を…との想いを神戸から発信しました。



これまでの歩みをまとめた冊子▶

♥ 気仙沼の商店街を応援

*岡本商店街の復興支援アンテナショップ「気仙沼まただいん」

阪急岡本駅から西に数分。甲南大学へと通じる道沿いに、気仙沼の名産品を販売する「気仙沼まただいん」があります。

「まただいん」とは、気仙沼の方言で“また来てね”という意味。東灘区の岡本商店街が、宮城県気仙沼の商業者への復興支援活動の一環として運営しています」と店長の青山慶太さん。

店内には、サンマの加工食品や調味料、のりなど現地直送の名産品が並び、レトルトのフカヒレスープ(350円)やだししょうゆ(450円～)、青のりの佃煮(300円～)などが人気を集めています。「復興には長期的な支援が必要。一人ひとりのちょっとした購買意識が支援につな

がります」と青山さん。震災を経験した商業者同士のつながりが、地域にも広がっています。

東灘区岡本1-11-20 営業時間 11:00～20:00
水曜定休 Tel.200-5327



気仙沼の名産品が並び店内

ビルの半地下にあります

♥ 市民グループによる息の長い支援

*今年も現地に支援隊を派遣 NPO法人「グループわ」

神戸市シルバーカレッジ卒業生でつくるボランティア団体「グループわ」は、同カレッジ、こうべ市民福祉振興協会と連携し、東日本大震災発生直後から支援活動をしています。

「募金や救援物資集めに始まり、平成23年7月には東北支援隊を南三陸に派遣し、田んぼのがれき撤去を

手伝い、幼稚園や小学校で紙芝居や昔あそびなどをして、子どもたちの心のケアにあたりました。これまで4回にわたり、女川町、石巻市、東松島市、名取市など各地の仮設住宅や数多くの幼稚園、小学校を訪ね、交流を重ねてきました」と理事の南形徹さん。

今年も7月に、女川町、仙台市、名取市などを訪ねる予定。一方で、体験報告会や物産販売を通して東北被災地への理解を深め、石巻市の子どもたちを神戸に招待するなど、絆を深め、交流の輪を広げています。



南三陸の田んぼでがれき運び



平成23年12月、石巻市の小学生たちを神戸に招待

※竹灯籠に鎮魂と復興への祈りをこめ「神戸・市民交流会」

毎年1月17日、神戸市中央区の東遊園地で1.17の形に並べられる竹灯籠。震災で亡くなられた方々を追悼し、“支え合うところ”を次世代に伝えるため「神戸・市民交流会」が中心になり続けています。

同交流会では「1.17のつどい実行委員会」のメンバーとして、東日本大震災が発生後は3.11の形に竹灯籠を並べ、「1.17」から「3.11」へ追悼と復興を祈り、メッセージを発信。今年も3.11の宮城県名取市閼上地区の追悼行事で神戸からの竹灯籠を並べ、地震発生時刻の午後2時46分に黙祷を捧げます。



昨年の「3.11 神戸からのメッセージ」会場風景

神戸市内では「1.17のつどい実行委員会」が3月11日に東遊園地（希望の灯り前）で竹灯籠を並べ、東日本の被災地の犠牲者に向け黙祷を捧げます。

神戸・市民交流会事務局長の山川康宏さんは「一緒に祈りを込めた黙祷を」と呼びかけています。



今年の「阪神・淡路大震災1.17のつどい」

◎同会事務局 山川さん Tel 090-2383-8589

※熱い想いをトルコへ そして東日本へ「神戸・トルコ友好協会」

シェフによるトルコ料理を味わい、ベリーダンスを楽しむ東日本大震災の被災者の方々。昨秋、市内のホールで開かれた「第7回トルコベフェスタ」の一コマです。

トルコベとは、神戸・トルコ友好協会の愛称。1999年8月、トルコ大地震の発生時に、被災地に派遣された神戸市職員が中心となり、2006年に設立した団体で、神戸・トルコ親睦交流サッカー大会の開催をはじめ、さまざまなイベントを通じ被災地同士の交流を深めてきました。

ベフェスタに招待したり、東北の物産品を購入し、バザー等で販売するなどの支援を続けています。会長の岩崎靖さんは「神戸、トルコそして東日本へと交流の輪が確実に広がっているのを感じます。今後、より一層、絆を深めていきたいですね」と語ります。



トルコ大地震の被災地での国際緊急援助神戸チーム 左が岩崎靖さん



トルコベフェスタを楽しむ東日本大震災の被災者の方々

●東日本大震災ボランティア活動パネル展と実演ライブを開催

神戸市社会福祉協議会は、これまで被災地でおこなわれたボランティア活動や支援活動の様子を紹介するパネル展とボランティア団体による実演ライブを開催します。

パネル展 グループわ 震災を読みつなぐ会KOBЕ アトリエ太陽の子 ヒトキズナ 神戸・市民交流会の活動風景など約50点。
3月10日(月)～28日(金) 午前9時～午後9時(日・祝は午後5時まで)

実演ライブ グループわ・神戸市シルバーカレッジによる東北支援隊の演奏(大道芸、銭太鼓、マジック、三味線)と、震災を読みつなぐ会KOBЕによる朗読ライブ。
3月10日(月) 午後1時半～3時



【会場】こうべ市民福祉交流センター1階(神戸市中央区磯上通3-1-12)
◎神戸市社会福祉協議会ボランティア情報センター Tel 271-5306

人生90年時代をイキイキと送りませんか

生涯いきいき情報センター

社会活動 生涯学習 趣味 就業 を応援します。



「趣味を深めたい」「学びたい」「ボランティアをしたい」「もう少し働きたい」…そんなあなたの思いにお応えします。

三宮・サンバル10階の「生涯いきいき情報センター」では、月1回火曜日に「出張相談」も実施しています。お近くの勤労市民センターにお気軽にお越しください。

専任の相談員が、親切にいいに対応いたします。相談無料。

出張相談もご利用下さい！

六甲道 勤労市民センター	毎月第1火曜日
兵庫 勤労市民センター	毎月第2火曜日
新長田 勤労市民センター	毎月第3火曜日
垂水 勤労市民センター	毎月第4火曜日

※いずれも午前10時～午後4時

お問い合わせ (公財) 神戸いきいき勤労財団 生涯いきいき情報センター
相談時間 平日9:00～17:00(土・日・祝・年末年始 休み)
場所 神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル10階
TEL 078-251-2522(直通)

会いたかったこの人 朗読ボランティアのパイオニア



やまだ れつこ 山田 烈子さん

1939年12月14日生まれ。1974年朗読ボランティアをスタート。1981年講師活動を開始し、1987年「兵庫県朗読ボランティア連絡会」を創設。13年間代表幹事を務める。兵庫県知事賞ほか受賞多数。「山田朗読研究会」主宰。市民福祉大学講師。朗読ボランティア養成講座講師。

視力障がいがある方に心をこめて朗読を

今年、朗読歴40周年を迎える山田烈子さん。朗読ボランティアの講師として、毎日のように県下一円を駆け回り、後進の指導に力を注いでいます。

きっかけは、次男の幼稚園入園。

「時間に余裕ができたので自分の世界をつくろうと考え、



朗読会のステージで

一途になれることを探していたら、目に留まったのがボランティア研修。読書好きだったので、手話、介護、点字などの中から選んだのが朗読でした」。

研修の最終日、自ら朗読ボランティアのグループを立ち上げ「灯台」と命名。「暗闇を照らす明かりとなり、目の不自由な方々の道しるべになろうと思いました」。

朗読ボランティアとは、小説、新聞、行政の広報

誌、医学書、教科書など、あらゆる書物を読み、テープに録音し、求められる所に発送する活動。聞きやすいテープをつくるためには、国語力に加え、著者の思いを的確に伝えるための技術も必要です。「発音、アクセント、読み方などの朗読技術は簡単には習得できないもの。実践と並行しながら身につけてもらいます」。

自身も学習を続けながら、文芸作品のほか国立神戸視力障害センターから依頼された東洋医学を多数朗読。特に印象に残っているのは、筑波大学の受験生のために苦労して英語の教科書を読んだことだと振り返ります。

シャンソンの歌い手としても活躍

「朗読は、美術や音楽と同様、芸術です」と話す山田さん。講座では、相手を思い、謙虚な気持ちで心をこめて読むことの大切さを説いています。

一方で、シャンソンの歌い手としても数多くのステージを経験。語りかけるようなドラマティックな歌唱に、朗読と同じく多くのファンが魅了されています。「でも、私の一番のファンは夫。『君の朗読をもっと多くの人に聞かせたい』といつも応援してくれています」。

みんな大好き 季節の人気メニュー

フレンチトースト 苺(いちご)ソース



苺ソースが春らしさを感じさせるフレンチトースト

街の中心に位置しながらも、季節の花や緑にあふれる旗塚保育所。保育も食事も“自然”“旬”を大切にしています。

週に4日の手づくりおやつのは、99人の子どもたちも楽しみにしているそう。

調理を担当する中務卓也さんは「美味しくて、食べやすく、見た目も可愛い献立を考えています」と話します。紹介いただいたフレンチトーストも旬のイチゴを添えることで、愛らしい一品に。フランスパンの中心にまで、しっかりと卵液を浸すことがコツです。苺ソースは、熱を加えずに冷やしておく。

材料 フランスパン… 1/2本 (苺ソース)
牛乳… 1cup(200cc) イチゴ… 10個
バター… 大さじ1 砂糖… 大さじ1
砂糖… 大さじ2
バター… 少々

作り方 1. フランスパンを2cm程の厚さにカットする。
2. 乳、卵、砂糖はしっかり混ぜ合わせておく。
3. 1.のフランスパンに2.がしっかりとしみ込むまで浸す。
4. フライパンにバターをひき、3.の両面がこんがりきつね色になるまで焼く。
5. 鍋にイチゴと砂糖を入れて軽く温めソースをつくり、4.に添える。

紹介者 旗塚保育所



〒651-0068 神戸市中央区旗塚通4丁目4-20

しあわせの村 ボランティア募集

—— 楽しいイベントをいっしょに企画・運営しませんか! ——

キャンプ、アウトドアクッキング、おばけやしき、おはなし、昔あそびほかイベントがいっぱい!



社会人ボランティア

申込方法 電話・FAX・はがきに①名前②住所③電話番号
④コースが社会人かを記入し下記に送付
またはWEB(www.shiawasenomura.org)にて。

締切 4/24(木)

申込先 〒651-1102 神戸市北区しあわせの村内
(公財)こうべ市民福祉振興協会 事業推進課
TEL:078-743-8092/FAX:078-743-8180

コースボランティア



①コースボランティア(大学・短大・専門学校生のみ)
説明会 4月27日(日) 10:00~ 要申込
②社会人ボランティア(18歳以上)
説明会 4月27日(日) 14:00~ 要申込

美味しい! かわいい! 福祉のお店

広々とした空間で心和むひとときを

ワークカフェ キュート

地下鉄県庁前駅から徒歩約5分。神戸市教育会館1階奥の「ワークカフェ キュート」は、ラウンジのような落ち着いた雰囲気の中で、軽食や各種ドリンクが楽しめます。

運営しているのは、神戸市内で約200名の知的障がいのある方々を雇用している「(株)いくせい」と彼らの保護者などで作る一般社団法人「神戸市手をつなぐ育成会」。

知的障がいのある女性が、接客や食器洗いなどのノウハウを身につける場として、一昨年オープンしました。

「丁寧な言葉づかいや身のこなしを大切に、お客様とのちょっとした会話もできるように」と、店長の辻田哲さん。おすすめは、手づくりの日替わりランチ(600円)。モーニングサービスやティータイムのケーキセットなども好評です。



日替わりランチ600円(取材日のメニューはライスコロッケとロールキャベツ)。



ケーキセットはマドレーヌとドリンク(コーヒー、紅茶、カフェオーレ、カフェノから一つ)で400円。



日本庭園を臨むゆったりとしたカフェ。



ていねいな接客を心がけています。



住 所 神戸市中央区中山手通4-10-5 神戸市教育会館1階
T E L 090-8449-3938
営業時間 午前10時～午後4時
定休日 日・祝日
ホームページ [Qワークカフェ キュート](#) [検索](#)

遊び心あふれる洒落た陶芸品

ピータンハウス

JR 鷹取駅から南東へ歩いて約10分の閑静な住宅街。小さなビルの1階に「ピータンハウス」があります。車いすの方々も働く場として平成7年に開所。13人の登録メンバーが作業台を囲み、会話を楽しみながら、遊び心あふれる陶芸品を次々と生み出しています。

「お客さんに喜んで買っていただけるよう、みんなでアイデアを出し合って、ていねいに制作しています」と職員の久保田浩史さん。地域の人たちとのコミュニケーションも大切にしたいと、毎週金曜の夜には一般の方を対象にした陶芸教室も開いています。

犬や猫、亀やふくろうなどがモチーフとなったセンスあふれる食器や小物類は、どれも500円～1000円前後と、手ごろな価格。記念品や引き出物など注文生産も受け付けています。

※商品は、神戸ふれあい工房(JR神戸駅地下デュオ神戸内)で展示販売中



飾っておきたくなる猫のカップ&ソーサー1200円。



亀のけんざん各500円、つまようじ立て各500円



コップ800円。猫のストロー立ては、持ち運びができるので便利1個250円。



一つひとつ手作業で、ぬくもりのある陶芸品が生まれます。



毎週金曜日の午後5時から8時には一般の方対象の陶芸教室(全6回コース)を開催

住 所 神戸市長田区海運町3-1-11
TEL & FAX 078-736-1776
営業時間 午前10時～午後5時
定休日 土・日・祝日
ブログ [Qピータン暮らし](#) [検索](#)

催し・イベント情報

講座 発達障がい支援者・ボランティアサポート事業

5月スタート

市民・ボランティアを対象にTEACCHプログラム・音楽療法など7講座、教員・保育士・放課後等児童デイサービス職員などの専門職を対象に言語療法・感覚運動など6講座(一部実習あり・写真)を開催します。



【場所】神戸市総合児童センター・こべっこランド(中央区東川崎町1-3-1)

【参加費】無料

④⑥ 申し込み・日程等についての詳細は、4月以降のこべっこランドホームページをご覧ください。

[Qこべっこランド](#) [検索](#)

催し こべっこランド スマイルサポーター(社会人ボランティア)募集

スマイルサポーターは、こべっこランドのコンピュータールーム・造形スタジオでの子どもたちの活動のサポート、料理教室や親子のひろばでの運営補助、大きなイベントのサポートなど「子どもたちへのあそびの支援」を行う社会人ボランティア(写真)。4月から1年間、活動に参加してくれる方を募集しています。



【場所】神戸市総合児童センター・こべっこランド(中央区東川崎町1-3-1)

【参加費】無料(ボランティア共済加入料(500円)のみ自己負担)

【定員】30人 ④⑥ 同センター TEL 078-382-1300

TOPICS

神戸市社会福祉協議会 新理事長が就任しました

ごあいさつ

1月20日に、今井鎮雄理事長の後任として就任いたしました。少子高齢化の進行や経済の低迷が、人びとの生活に変化をもたらし、社会的孤立や生活困窮者などの新たな問題が語られる昨今ですが、「つながり、支え合う地域福祉」を増進するため、本協議会の役割を果たせるよう、努力してまいりたいと思います。今後とも、ご支援ご協力たまわりますよう、お願いいたします。



社会福祉法人
神戸市社会福祉協議会
理事長 中村三郎

講座 市民福祉大学

●家庭介護セミナー

5月23日～6月13日 毎週金曜
全4回 13:30～16:30

介護における知識や食事介助、体の清潔方法、腰を痛めない介護術などについて、実習を交えながら楽しく学びます。

【参加費】4,000円【定員】24人



●点訳ボランティア入門講座

5月13日～10月7日 毎週火曜 全20回 14:00～16:00

視覚障がい者への理解を深め、点訳ボランティアとして必要な知識・技術を習得します。

【参加費】1万円(テキスト代込み)【定員】30人

●手話ボランティア養成講座(基礎編)

5月7日～9月24日 毎週水曜 全20回
朝10:00～12:00 昼14:30～16:30 夜18:30～20:30

手話入門講座を修了した方を対象に、手話技術など手話奉仕員として必要な知識・技術を学びます。

【参加費】8,000円(テキスト代別途3,240円)【定員】各クラス30人

※上記3講座はお申し込みが少ない場合はやむを得ず中止することがあります。会場はいずれも

【場所】こうべ市民福祉交流センター(中央区磯上通3-1-32)

④⑥ 神戸市社会福祉協議会 市民福祉大学 TEL 271-5300

[Q市民福祉大学](#) [検索](#)

ご寄付をありがとうございます

～みなさまの善意を神戸市の福祉活動に役立てます～

(敬称略。平成25年10月～26年1月末分。ご承諾をいただいた方のみ掲載しています)

善意銀行

善意銀行では、金銭・物品のご寄付を「金銭口座」と「物品口座」にお預かりしています。

預託の部
 金銭口座：瑞乃会、昭和53年度 神戸市役所同期会(78の会)、匿名6件
 物品口座：布のおもちゃ作りボランティアほたる、ネットトヨタ神戸様

払出の部
 金銭口座：大原・桂木ふれあいのまちづくり協議会
 物品口座：手話サークルすずめのお宿、絵はぎボランティアグループ土筆、たんぽぽ、垂水区ボランティアセンター おたよりくらぶ係

不要入れ歯回収・リサイクル事業(平成25年3月～12月回収分)から24,990円が善意銀行に寄付されました。

社会福祉推進基金

府国生第534号 内閣府NPO法人
 暮らしの寺小屋ライフサイエンス 中村淳子 二期会 長谷川昇、
 神戸女子大学P愛学友会、匿名1件

※寄付をいただいた個人・法人は、所得税・法人税の優遇措置が受けられます。

10F 炭火焼 博多水炊き

10F レストラン&BAR

9F あぶり工房

9F 日本料理

9F イタリア料理

2F 喫茶

IPPO

燦

あぶり工房

松通家

Papa Milano

UCC Café Plaza

tel.078-325-1235

tel.078-331-1233

tel.078-331-2929

tel.078-333-0678

tel.078-331-1122

tel.078-391-4057

お食事・各種ご宴会に

Gourmet Promenade

グルメプロムナード

各線三宮駅すぐ 神戸交通センタービル

http://www.kotsu-center-bldg.com

広告 介護付有料老人ホーム(一般型特定施設 入居者生活介護) 経営 理念

利用権方式(神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示)

自分の身内でも入居させたいようなホームにしよう! 入居者募集中

エリネス須磨

新須磨病院と業務契約締結 夜間・緊急時における受入体制も確立

診療科目 内科・外科・整形外科・脳神経外科 他

協力内容 年2回の健康診断、院長(外科医)による健康相談など

ご見学・体験入居 入居相談(随時承り中)

公益社団法人 全国有料老人ホーム協会会員 株式会社 神戸健康管理センター TEL(078)795-8111(代)

〒654-0142 神戸市須磨区友が丘7丁目1番地21 0120-65-3738

入居時自立 身の周りの事が自分で出来る方

●全室(115室)広さ・間取りが同一で格差なし

●年齢別入居一時金制度がご利用いただけます

●介護が必要になられても、そのままお住まい頂けます

入居時要支援・要介護 すでに介護のお世話が必要な方

「介護の家」

●入居金(5回払い方式)がご利用いただけます

●胃ろう造設・透析等がされている方もどうぞお気軽にご相談下さい

●JR「須磨海浜公園」から約300m(徒歩5分)

〒654-0047 神戸市須磨区磯馴町3丁目1-27

プレゼント

アンケートにご協力ください〈応募締切：3月25日必着〉

「きずな♥KOBÉ」第6号はいかがでしたか？

ご覧になった感想をお寄せください。お寄せくださった方のなかから抽選で下記の賞品をプレゼントいたします。

A ビーズマグネット 3個セット

知的障がいと身体障がいがある人々が利用する、社会福祉法人「みのり会」(宮城県名取市)。東日本大震災後、多くの方の力を借りて、ようやく本格的な活動ができるようになりました。

ていねいに作られたビーズマグネット(写真)を3個セットで。(1個200円)

※手作り品のため同じものはありません。組み合わせは編集部にお任せください。

10名様



B 「ターナー展」チケット

英国最高の画家と称されるジョセフ・マロード・ウィリアム・ターナーの大回顧展。ロンドンのテート美術館所蔵の油彩画30点以上に、水彩画、スケッチブックなど計113点を展覧。神戸市立博物館(中央区京町24)で、4月6日(日)まで。月曜休館。当日一般1500円。

※3月25日応募締め切り後の発送となりますことをご了承ください。

5組10名様



ヴェネツィア、嘆きの橋
テート美術館 © Tate2013-2014

C 給食袋セット ピンク・青色

給食袋とランチョンマット、ティッシュ入れの3点セット(写真・各780円)。青は恐竜と車、ピンクはイチゴと花の模様です。ワークホーム緑友(しあわせの村内)の方が作りました。

各1名様



投稿欄

VOICE

～第5号に寄せて～

●若い人たちが、福祉活動をしているのを読んで感心しました。福祉のお店にも行ってみたいと思います。(M.Kさん)

●表紙が大変良かったです！「子どもヘルパー活動」は中央区にもあるのかな？なければ作ってください。サツマイモ丸もちは、おやつに作ります。(K.Kさん)

●岡本に行くたびに気になっていた「ひつじ書房」が載っていたのでびっくり！素敵な平松さんの生き方に感動しました。(A.Sさん)

●皆さんの笑顔がどのページにも溢れているのが印象的です。「介護が必要となったらどうしよう」と心に不安はあります。福祉の心を育む子どもたちに頼るわけではありませんが、将来とても心強く思います。(A.Mさん)

「きずな♥KOBÉ」では読者の皆様からの投稿を募集しています。応募はプレゼント欄と同じ宛先にどうぞ。掲載者には、記念品を贈らせていただきます。

【応募方法】ハガキまたはEメールで

お名前、ご住所(〒)、電話番号、年齢、性別、職業と希望のプレゼント名、本誌をご覧になっての感想を明記して、下記まで応募ください。当選者の発表は賞品の発送に代えさせていただきます。

ハガキ 〒651-0086

神戸市中央区磯上通3-1-32

神戸市社会福祉協議会

「きずな♥KOBÉ」プレゼント係へ

Eメール kouhou@with-kobe.or.jp

※次号は2014年7月発行の予定です。

KOBELCO
神戸製鋼グループ

神戸製鋼グループが運営する介護付有料老人ホーム

広告

便利でありながら閑静な住宅街、神戸市東灘区に立地。

エレガント甲南
ELEGANT
KONAN
介護付有料老人ホーム
(一般型特定施設入居者生活介護)



平成18年4月撮影
土地：普通借地
(平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株))
建物：自社所有

見学会開催

2014年3/27(木)

11:00～14:00

(参加費:1,000円/人 昼食付)

詳しくは
下記フリーコールまで



0120-65-8208

見学会当日の契約は受け付けておりません。

【神戸市有料老人ホーム 設置運営指導指針による表示事項】 ●類型／介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態／利用権方式 ●利用料の支払方法／一時金方式(一般居室) ●選択方式(介護居室) ●入居時の要件／入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険／兵庫県指定介護保険特定施設 兵庫県指定介護予防特定施設 ●介護居室区分／全室個室 ●介護にかかわる職員体制／1.5:1以上。夜間(17:00～翌9:30)の介護職員数8名・看護職員2名 ●夜間休憩時、介護職員4名、看護職員1名、になる時間帯がありますが緊急時等には対応いたします。 【施設概要】 ●交通／阪急神戸線「岡本」駅より徒歩15分(約1,180m)、JR神戸線「摂津本山」駅より徒歩12分(約930m)、阪神本線「青木」駅より徒歩9分(約700m) ●構造・規模／鉄筋コンクリート造 地上14階建(ケアセンター棟地上6階) ●総居室数／一般居室105戸・介護居室97室 ●土地建物の権利形態／土地は普通借地(平成16年契約、所有者は神鋼不動産(株))、建物は自社所有

経営
運営主体



神戸製鋼グループ(神戸製鋼所85%出資)

神鋼ケアライフ株式会社

(公社)全国有料老人ホーム協会会員・(社)シルバーサービス振興会会員・(社)全国特定施設事業者協議会会員

〒658-0015 神戸市東灘区本山南町3丁目3番1号

TEL:078-411-9600 FAX:078-411-9674

ホームページ <http://www.s-carelife.co.jp>

きずな♥KOBÉ 第6号 (2014年3月発行)

発行 社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会 広報交流部

〒651-0086 神戸市中央区磯上通 3-1-32 こうべ市民福祉交流センター

<http://www.with-kobe.or.jp/> TEL 078-271-5306

監修 広報メディア研究所

「きずな♥KOBÉ」では、企業等の広告を募集しています。広告掲載のお問い合わせは、078-271-5306 神戸市社会福祉協議会 広報交流部へ。

神戸市社協広報印刷物登録

平成25年第3-3号 広報印刷規格A-3類

この広報誌は愛の輪運動・赤い羽根共同募金の補助を受けて発行しています。